

教科(科目)	地理歴史(日本史B)	単位数	4単位	履修学年(コース)	2学年(文系)
使用教科書	『詳説日本史』(山川出版社)				
副教材等	『最新日本史図表 新版』(第一学習社) 『新日本史研究ノート(標準編)』(啓隆社)				

1 学習目標

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

歴史の流れを大きく把握させるとともに、基本的な事項・知識の定着をはかり、入試にも対応できる学力の養成を授業や考查を通じて行う。また、我が国や地域の伝統や文化に興味を持ち、意欲的・積極的に学習する姿勢を持たせるために、様々な国宝や地域の文化遺産・諸資料を授業に活用する。

3 学習計画

単元名		学習活動(授業内容)			
1 学 期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 律令国家の形成	1 文化の始まり 1 飛鳥の朝廷 4 天平文化	2 農耕社会の成立 2 律令国家への道 5 平安王朝の形成	3 古墳とヤマト政権 3 平城京の時代	中 間 考 査
	第3章 貴族政治と国風文化 第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立 第5章 武家社会の成長	1 摂関政治	2 国風文化	3 地方政治の展開と武士	
2 学 期	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立	1 織豊政権 4 幕藩社会の構造	2 桃山文化	3 幕藩体制の成立	中 間 考 査
	第7章 幕藩体制の展開 第8章 幕藩体制の動揺	1 幕政の安定 1 幕政の改革 3 幕政の衰退と近代への道	2 経済の発展 2 宝暦・天明期の文化	3 元禄文化 4 化政文化	
3 学 期	第Ⅳ部 近代・現代 第9章 近代国家の成立 第10章 二つの世界大戦とアジア	1 開国と幕末の動乱 3 立憲国家の成立と日清戦争 5 近代産業の発展	2 明治維新と富国強兵 4 日露戦争と国際関係 6 近代文化の発達		期 末 考 査
	第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代 第13章 激動する世界と日本	1 第一次世界大戦と日本 3 市民生活の変容と大衆文化 5 軍部の台頭	2 ワシントン体制 4 恐慌の時代 6 第二次世界大戦		
		1 占領と改革 1 55年体制 1 経済大国への道	2 冷戦の開始と講和 2 経済復興から高度成長へ 2 冷戦終結と日本社会の動揺		学 年 末 考 査

4 課題・提出物等

提出物・小テストおよび長期休業中の課題などは別途指示する。
模試の前には過去問を週末課題として課す。

5 評価規準と評価方法

(①関心・意欲・態度)	(②思考・判断・表現)	(③資料活用)の技能)	(④知識・理解)
各単元の学習内容のポイントを意識して授業中の諸活動(説明を聞く、ノートをとる、課題を考える等)に取り組むことができる。	各単元の学習内容の意味と課題を、現代の自分達との関わりを通じて国際的な視野で考えることができたか。自分の知識や考え(意見・判断)を場面に応じて適切に表現することができる。	諸資料を多面的に判断して意見を述べることができる。	各単元の学習内容を相互に関係するものとして「歴史の流れ」の中で理解し捉えることができたか。国宝や文化遺産に関する知識を持っている。
評価は、「授業中の学習への取り組みの様子」、「課題の内容や提出状況及びその内容」、「小テストや定期考査」などを材料に総合的に行う。提出課題には早めに取り組み、期限を厳守すること。			

6 担当者からの一言

授業進度が速いので、進度に応じて各自問題集(研究ノート)に取り組みながら復習を欠かさずに行い、教科書の内容の理解につとめること。また、定期考査前はもちろん、普段の授業でも質問があればためらわずにすること。学習の仕方も同様である。定期考査直前の丸暗記では効果は期待できない。日本史で受験を予定している生徒は、特に3年生での模試にすぐに対応できるように復習を欠かさずに行う。